

吹田市吹奏楽団
第80回定期演奏会



2026年5月4日(月・祝)14:00

吹田市文化会館メイシアター 大ホール

主催 / 吹田市吹奏楽団 後援 / 吹田市・吹田市教育委員会

ごあいさつ

吹田市吹奏楽団

本日私たちは、1983年の創立以来80回目の演奏会を迎えることができました。これもひとえに、地域のさまざまなイベントや、本日のような演奏会に足をお運びいただき、演奏を聴いてくださる皆様あってこそと、団員一同心より感謝申し上げます。

私たちはこれまで、地域の皆様に「音楽を身近に感じていただく」という想いを大切に活動してまいりました。本日の演奏会も、皆様への感謝の気持ちを込めて、80回の節目に相応しい作品として、第1部は当団のために作曲された『ブリランテ吹田』、吹奏楽の名曲『リシルド序曲』をお届けいたします。第2部はこれまでの演奏会で皆様からいただいたアンケートの中から、特に多かったリクエストにお応えして、ミュージカルと映画の音楽を演奏いたします。どうぞ、最後の一音まで、ごゆっくりお楽しみください。

それでは、“May the force of Music be with you！”

—皆様に音楽のチカラがともにありますように！

指揮 石田 忠 昭

相愛大学音楽学部卒業、研究課程修了。ユーフォニアムを日野圭一・下濃正浩・小牧茂・三浦徹、トロンボーンを芝辻宣雄、作曲理論を山田光生・保科洋、指揮を東儀祐二・酒井睦雄の各氏に師事。F. フェネルのコンダクターズクリニック参加。ヤマハ新人演奏会等に出演。オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、新星日本交響楽団等に客演。ブリーズ・ブラス・バンドに1990～2000年在籍。NHK連続テレビ小説「てっぺん」のユーフォニアムと指揮の指導を担当、「ブギウギ」に出演。

現在、ESA音楽学院専門学校非常勤講師。Dolce Music Academy講師。阪南大学文化会吹奏楽部・大阪管楽アンサンブル常任指揮者。吹田市吹奏楽団・NEWs指揮者。BANDE Wind Orchestra指揮者代行。The Brass Bar 10音楽監督。作・編曲家。

指揮 佐々木 毅

相愛大学音楽学部器楽学科管楽器専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。

チューバを唐川集三（元大阪フィル）、武貞茂夫（元京都市響）の各氏に師事。R. マーティン（元シカゴ響）、P. シェリダン各氏のマスタークラスを受講。吹田市吹奏楽団所属。

指揮 池 口 信 行

中学生からトロンボーンを始め、学生指揮者を務めたことで、音楽づくりにも深い興味をもつ。

吹奏楽指導者のためのクリニックや認定試験などを通じて研鑽しながら、合奏指導法や音楽づくりの基礎を森本努氏、指揮法を森上芳郎氏に師事。2018年までJR西日本吹奏楽団に在籍して指揮者を務め、JR西日本硬式野球部応援曲の作・編曲や、JR西日本社歌「明日へ向って」吹奏楽版（公式）の編曲などを行う。2022年より吹田市吹奏楽団トロンボーン奏者。2023年より団員指揮者に任命される。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

プログラム

第Ⅰ部

指揮：石田 忠昭

リシルド序曲

G.パレス/編曲 石田 忠昭

Richilde Overture

Gabriel Parès/Arr.by Tadaaki Ishida

ブリランテ吹田(創立20周年記念委嘱作品)

中澤 道子

Brillante Suita

Michiko Nakazawa

1.Fanfare～曙～

2.～凧～

3.～轟～

4.～耀～

第Ⅱ部

指揮：佐々木 毅/池口 信行

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

C.-M.シェーンベルグ/編曲 森田 一浩

From the Musical Les Misérables

Claude-Michel Schönberg
/Arr.by Kazuhiro Morita

映画「もののけ姫」よりアシタカとサン

久石 譲/編曲 西條 太貴

-Piano Solo Feature-

Joe Hisaishi/Arr.by Taiki Saijo

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

R.ロジャース/編曲 岩井 直溥

The Sound Of Music Medley

Richard Rodgers/Arr.by Naohiro Iwai

スター・ウォーズ・サガ

J.ウィリアムズ/編曲 J.デ=メイ

Star Wars Saga

John Williams/Arr.by Johan de Meij

当団の演奏会情報を
ご希望の方は公式LINEの
友達追加をお願いします

本日の演奏会について
アンケートにご協力
をお願いします

吹田市吹奏楽団
公式LINE▶



演奏会
アンケート▶



曲目紹介

リシルド序曲

G. パレス / 編曲 石田 忠昭

「リシルド」とは、11世紀のヨーロッパ・フランドル地方(現在のベルギー・オランダ南部・フランス北部、「フランダースの犬」の舞台)に実在した、当時としては非常に珍しい実権を握っていた女性領主の名前です。作曲者のパレスが楽団長を務めていたフランス・パリの共和国親衛隊吹奏楽団が、この地方で催した演奏会のために1894年に作曲されました。

管楽器・打楽器からなる吹奏楽のために作曲され、現在でも演奏される作品としては古い歴史を持つ1曲に数えられます。作曲された当時の日本は、明治維新の直後に横浜ではじめて創設された軍楽隊が、徐々にレパートリーを増やし、腕を磨いていた時期にあたりますが、この作品の初演での演奏者は100人以上を擁していたと言われていています。その中には今ではあまり使われなくなってしまった楽器もあるため、本日は当団の編成に合わせた編曲版を演奏いたします。

ブリランテ吹田(創立20周年記念委嘱作品) Brillante Suita

中澤 道子

「ブリランテ」とはイタリア語で「華麗に」「輝いて」という意味。この作品は私たち吹田市吹奏楽団の創立20周年を記念して中澤道子氏に委嘱し、2003年10月5日に開催された第40回定期演奏会で初演されました。その後創立30年の第60回定期演奏会でも演奏され、本日は第80回を記念して3回目の再演となります。

中澤道子氏は大阪音楽大学作曲科を卒業、同大学院で作曲専攻を修了し、鈴木英明氏に師事。主要な作品に、オペラ『織部焼紋様』、ミュージカル『雪の女王』、オーケストラ作品『曙』、吹奏楽『アマダブラム』などがあり、関西を中心に活躍されています。

中澤先生自らお寄せいただき、先生のお人柄とこの作品について余すことなく記された、初演時のプログラムノートをご紹介します。

「20周年演奏会おめでとうございます。心からお祝い申し上げますと共に、記念すべき晴れの日に作品を書かせていただきましたことを大変光栄に思います。20年と云う年月には、思いがけぬ出来事や心に残る、忘れられない思い出が多々あったのではないのでしょうか。そんな「吹田市吹奏楽団」の皆様歩みに思いを馳せ、それらを投影できたら・・・と思い描き、書いた作品です。曲は四つの楽章から成り創成の頃の希望に満ちた様子を描いた1楽章：Fanfare～「曙(あけぼの)」、静かに力を貯えながら安定した演奏活動が続く様子を描いた2楽章：「凧(なぎ)」、予期せぬ困難に戸惑いつつ団員の力を結集して立ち向かう様子を描いた3楽章：「轟(とどろき)」、未来へ向けて益々発展する団に祈りを託した4楽章：「耀(きらめき)」、各々調性のある解り易い作品です。吹田市吹奏楽団の今後の更なるご活躍を心よりお祈り申し上げ、親しんでお聴きいただければ幸いです。」

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より C.-M. シェーンベルク / 編曲 森田 一浩

原作はフランスの作家ヴィクトル・ユーゴーが1862年に発表し、日本では『あゝ無情』で和訳されました。フランス革命の記憶が生々しく残り、不安定で不公平な社会に対する市民の不満が大きいなか、政治に反対していたユーゴーが、国外追放され亡命先で『本当の幸せな社会とは何か』を問いかけるためにこの作品を書いたと言われています。

ミュージカルは1985年ロンドンで初演。本日は、ストーリー順とは異なりますが、『雲の中のお城』『プロローグ』『1日の終わりに』『夢やぶれて』『最後の戦い』『一人きりで』、そして最後に『民衆の歌』の7曲で構成されたメドレーでお送りします。

映画「もののけ姫」よりアシタカとサン

-Piano Solo Feature-

久石 譲 / 編曲 西條 太貴

宮崎駿監督『もののけ姫』から、ラストシーンで人間と「もののけ」の争いで焼け尽くされた森が、再びゆっくりと生命を取り戻していく場面を、ピアノのソロ、吹奏楽の伴奏で演奏します。

ピアノソロは、当団のクラリネット奏者・岡本仁見。吹田市出身、大阪城南女子短期大学幼児教育科、大阪音楽大学短期大学部器楽科(ピアノ)を卒業、現在は吹田市内の中学校吹奏楽部指導員や合唱の伴奏、合唱の編曲など多方面で音楽活動をしています。

スタジオ・ジブリ作品の音楽と言えば日本映画音楽の巨匠・久石譲。彼の作品にはピアノがよく合いますが、本日はもうひとつ「ある仕掛け」も。どうぞお楽しみに。

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー R. ロジャース / 編曲 岩井 直博

タイトルをご覧になっただけで、森を越えて広がる一面の草原、その遠くに望む雪を頂いた山々、ベリーショート・ジュリー・アンドリュース・・・と映画のオープニングを思い出される方も多いでしょう。ミュージカルは1959年初演、映画は1965年に公開。当時ミュージカル映画は、俳優とは別の歌手が歌を吹き込むのが主流でしたが、この作品では主演のジュリー・アンドリュース自身が華麗な歌声を披露しました。オスカー・ハマースタインⅡ世とリチャード・ロジャースの名コンビ最後の作品となった名曲から『サウンド・オブ・ミュージック』、『ドレミの歌』、『さようなら、ごきげんよう』、『エーデルワイス』、『すべての山に登れ』をメドレーでお届けします。

スター・ウォーズ・サガ J. ウィリアムズ / 編曲 J. デ＝メイ

本日の演奏会の最後は、皆様よくご存じの『スター・ウォーズ』。遠い昔、はるか彼方の1977年と1980年に公開された初期の2つの作品から、主役のルークのテーマが入った『メイン・タイトル』、ルークの師匠『ヨーダのテーマ』、ルークの父『ダース・ベイダーのテーマ(帝国のマーチ)』、ルークの妹『レイア姫のテーマ』を中心に、その他『フォースのテーマ』など、ルークの親族多めで、たくさんのメロディが登場します。

ジョン・ウィリアムズは1932年生まれ。軍楽隊やハリウッドで現場経験を積み、『ジョーズ』『スーパーマン』『インディーズ』『ジュラシック・パーク』など大編成のオーケストラを豊麗に響かせる音楽で、聴衆にも演奏者にも親しまれ、世界中の有名オーケストラが彼の映画音楽だけで演奏会をプログラムしています。